

壁を越える！ 限界を越える！ 自分を越える！

# 独学サポート塾【BEYOND】

## 合格体験記

3浪目まで予備校に通ったものの不合格が続く……

【BEYOND】入塾後の模試で初めて9割超え\*を達成して、  
ついに今年、念願の“北海道大学獣医学部”に堂々合格！

※ 河合マーク模試における全科目合計点の得点率

氏名：田中さん（男性・22歳）

学年：4浪

入塾時期：8月 [プレミアムコース]

入塾時の状態：

3浪まで予備校に通い、4浪は自宅浪人として独学で勉強。  
行き詰まりを感じていたときに、親から入塾を勧められる。  
勉強計画を立ててもらえるので効果がありそうと感じて入塾。

菅原 合格おめでとうございます！何年間もの頑張りが花開きましたね。

田中 はい。ありがとうございます！

菅原 合格してから1週間が経ちましたが、気持ちもガラリと変わったんじゃないですか？

田中 そうですね。受かったときはやっぱり嬉しかったです。ただ、合格してから入学手続きまでが忙しくて、あっという間に1週間が過ぎちゃいました。

菅原 家族に「合格したよ」と伝えたときは、どんな反応でしたか？

田中 嬉しそうに喜んでくれましたね。

菅原 親御さんも、きっと嬉しいでしょうね。僕は合格発表を大学の掲示板まで見に行ったんですけど、大学から母に電話して合格したって伝えたら電話先で泣いてました（笑）

田中 ははは（笑）

菅原 終わってみると、受験は親にとっても大変なことなんだって分かりますよね。田中さんの合格は、いろんな人を喜ばせた合格だったんじゃないかなと思います。

田中 そうだと嬉しいです。

菅原 田中さんは4浪目での合格ですね。現役のときも含めると、5年間諦めないで頑張り続けたわけじゃないですか。

田中 はい。そうですね。

菅原 田中さんと同じように、夢に向かって何年間も頑張り続けている受験生はたくさんいます。でも、不合格が続くと自信がなくなったり、失敗するクセがついたりして、合格するのが難しくなっていっちゃうんですね……。

田中 それは分かる気がします。

菅原 そんななか、今年合格できたのは素晴らしいことですよ。きっと、これまでの不合格と今年の合格には、それぞれ理由があると思います。今日はこのあたりのことを聞かせてください！

田中 はい。よろしくお願いします！

毎日サッカー部の練習があったので、定期試験の直前に追い込んで勉強  
現役生のときは農学部を目指していた

菅原 田中さんが行っていた高校は、学力や受験に対する雰囲気はどうでしたか？

田中 私大と国公立を受ける人に分けて対策をしてくれていて、それなりに勉強しようという雰囲気はあったと思います。でも、学力はそれほど高くなかったかな……。旧帝大（※注）で合格したのは、北海道大学くらいですかね。周りもあまり良い大学に行ったっていう話を聞かないので、レベルはそんなに高くはなかったと思います。国公立に行ければスゴイってみられる感じでした。

※注：旧帝大とは、帝国大学として設立された大学（北海道大学・東北大学・東京大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・九州大学）の総称です

菅原 じゃあ、今回田中さんが合格した大学は、高校ではトップレベルですね。

田中 はい。そうかもしれません。

菅原 普段の勉強や部活については、どんな感じで取り組んでいましたか？

田中 僕はサッカー部だったんですけど、練習は毎日ありました。定期試験の1週間くらい前になると休みになって、そこから勉強に打ち込んで試験対策をするような感じでしたね。

菅原 サッカー部だと、練習の後に勉強するのも大変そうですね。その頃の成績はどうでしたか？

田中 定期試験の学年順位でいうと、10位台の前半あたりっていう感じでしたね。できるだけ授業のなかで理解して、あとは試験直前に追い込んで勉強してました。

菅原 サッカー部は、いつ頃まで続けていたんですか？

田中 高3の夏に引退試合がありました。秋まで部活を続けて推薦をとるような人もいましたけど、自分は夏で辞めましたね。そこから、受験勉強を始めた感じです。

菅原 塾や予備校には通ってたんですか？

田中 一応、夏くらいから塾に行き始めました。でも、成績は思うように伸びなかったですね。

菅原 そうだったんですか。それで、現役生のときの受験はどうだったんですか？

田中 現役のときは農学部を中心に受けていました。動物に関わることを勉強したかったので、生物よりの学部を受けていた感じです。

獣医になりたいという気持ちが  
ずっと心のどこかにあった  
2浪目に獣医学部を目指そうと決断

菅原 浪人することになってからも、同じ塾に通い続けてたんですか？

田中 1浪のときは親の勧めもあって、地元を離れてA予備校に入りました。厳しい環境で受験に臨めるっていうので有名な予備校だったので、そこに決めました。

菅原 「地元を離れて」っていうことは、寮に入ってたということですか？

田中 はい。周りは自宅から通っている人もいましたけど、自分は寮に入っていました。

菅原 寮に入ってたなら、勉強メインの生活になりそうですね。ちなみに、バイトとかはやってなかったんですか？

田中 やってなかったですね。たしか、禁止だったと思うんで……。

菅原 バイト、禁止なんですね（笑）

田中 元々する気がなかったから良いんですけど、他にも自習が強制だったりとか、姿勢や身だしなみにもかなり厳しかったですね。このあたりは、勉強への集中力にもつながったりするのかなとは思っていますけど。

菅原 たしかに、大事なことだとは思いますが。でも、予備校でそこまで指導するのは、なかなか独特だなという感じもしますね。

田中 そうですね。

菅原 前に聞いた話だと、2浪目もそのA予備校に通ってたんですよ。

田中 はい。3浪目のときに、A予備校のままとなあなあになりそうだったので、B予備校に変えました。

菅原 1, 2浪のときはA予備校に、3浪目はB予備校に行っていたわけですか。そしてこの間に、志望先が農学部から獣医学部が変わっていったんですよね。

**田中** 2浪目に変わり始めました。だんだん実力がついてきて、模試で志望大学を記入するときに軽い気持ちで獣医学部を書いてみたんです。ずっと行きたいという気持ちがあったので、どれくらいの距離にいるのかなと思って。そしたら、私大のほうで少し可能性が見えたので、じゃあ本格的に目指してみようかなって思い始めました。

**菅原** 最初は農学部を受けていたけど、もともと獣医学部に行きたいって気持ちがあったんですね。

**田中** そうですね。心のどこかにずっと、獣医になりたいって気持ちがあったと思います。

予備校のカリキュラムに沿って勉強をしていたから、科目ごとの勉強量に偏りが出ている

**菅原** 厳しい指導で有名だったA予備校に2年間通って、その後にB予備校に1年通いました。それでも、残念ながら合格できなかったわけですよ。今振り返ってみて、その頃の問題点とか、うまくいかなかった原因は何か思いつきますか？

**田中** 2浪までは、国語と社会の点数があまり取れなかったのが原因だと思います。センターの比重がそれなりにあるので勉強してるつもりではいたんですけど、それでも疎かな部分がありました。センターの前からあまり点数が取れていなかったの、これは受からなさそうだなあっていう気持ちで本番に臨んじゃっていた気もします。

**菅原** 3浪のときはどうでしたか？

**田中** 3浪のときは文系科目を中心にやっていたら、逆にそれ以外の科目が疎かになっちゃって…。それで、勉強面も気持ちの面でもいろいろバランスが崩れて、センターでまた失敗しちゃいました。そこから落ち込んで、2次試験もやっぱりダメか、みたいな感じでした。

**菅原** それぞれ科目が違うけど、対策が疎かな科目があったということなんですね。じゃあ、もう少し深く突っ込ませてください。どうして、疎かな科目ができてしまったんでしょう？

**田中** 勉強計画とか1日の時間の使い方をあまり決めてなくて、1日に何個かの科目しか勉強できてなかったですね。解けない問題があると、なんで解けなかったのかを考えすぎたり、その科目を重点的にやらなくちゃって感じたりして、その場で勉強する内容を決めていた気がします。

**菅原** そうすると、勉強する科目と勉強しない科目がクッキリ分かれそうですね。

**田中** 全体の勉強量は多かったとしても、科目ごとの勉強量に偏りが出ていると思います。何日も勉強してない科目は、よく忘れてしまったり、頭から消えてることがありました。

**菅原** なるほど。それは大きな問題点といえるでしょうね。大体でいいですが、1日に何科目くらい勉強していたのか覚えてますか？

**田中** たぶん、3～4科目くらいですね。

**菅原** 今の田中さんなら分かると思いますが、センターの合計点数を伸ばそうと思ったら、それは少ないですよ。

**田中** はい。

菅原 予備校に通っていた頃は、勉強計画はあまり考えてなかったんですか？

田中 そうですね。予備校のカリキュラムに沿って勉強していたので、自分の勉強の計画を立てたりはしてなかったですね。

菅原 予備校の授業を受けてると、その予習・復習がメインになりますからね。ただ、自分でも勉強計画を作っておかないと、科目ごとの勉強量に偏りが出てしまう可能性があります。予備校に通っていても、やはり受け身の姿勢ではまずいということでしょうね。

勉強計画を立ててもらえたり  
やり方のアドバイスをもらえるのは、  
この先絶対に役立つだろうと思った

菅原 4浪目に入ってから、どう過ごしていたんですか？

田中 予備校には行かないで、今までやってきた教材を解き直していました。あと、通信教材をとり始めたので、それを解いていましたね。

菅原 4浪目で初めて自宅浪人をしたということになりますよね？

田中 そうですね。ただ、夏休みには夏期講習に行きました。

菅原 自宅浪人し始めてから夏期講習に行っていた頃って、どれくらいの勉強時間でしたか？

田中 たしか、1日5～6時間くらいだったと思います。3浪までと比べて減っていたので、不安な気持ちがありました。

菅原 勉強時間が減ると、たしかに不安になっちゃいますよね……。【BEYOND】のことを知ってくれたのは、その頃ですか？

田中 最初は親がネットで見つけて、勧めてくれました。それで、少しやってみてダメなら辞めればいいかみたいな軽いノリで申し込んでみた感じですね。

菅原 なるほど。軽いノリでやってみたと（笑）

田中 すみません（笑）

菅原 いや、良いですよ。正直に話してくれて、ありがとうございます。それまで、田中さんはずっと予備校に行っていたわけじゃないですか。そこからネットの塾って言われて、正直、最初はどう感じました？

田中 最初は不安がありました。今までネットのやり取りとか、直接会わない人とコミュニケーションをとるっていう経験がなかったんですよね。直接会わないのはプラスな部分もあると思うんですけど、目の前に相手がいなくてもやっていけるのかという不安もありましたね。

菅原 たしかにネットだと、そういう不安はありますよね。

田中 でも、自分で勉強計画を立てたりした経験がなかったんで、それを作ってもらえるというのは絶対プラスになるだろうなと感じてはいました。

菅原 勉強計画を立てるのって、最初はかなり難しいですからね。1人じゃ不安になるという気持ちはよく分かりますよ。

田中 はい。実際、難しかったです。

菅原 いろいろ悩んだとは思いますが、最終的に「やってみよう！」と決めた理由は何ですか？

田中 1人でやっていると、どうしても勉強時間が少なくなるんですね。周りの目というか、監視の目がなくなって気が緩んでいたのは自分でも感じていて……。このままいくと、今年も合格は厳しいんじゃないかなと。

菅原 なるほど。

田中 通信教材も取ってましたけど、月1回の指導なので少ないように感じていて。勉強の中身についても、自分1人でやっていくのは不安でした。

【BEYOND】で勉強計画を立ててもらえたり、どの教材を使うかのアドバイスをもらえたりするのは、この先絶対に役立つだろうと思ったんですよね。なので、試しにちょっとだけ受けてみようって申し込んでみました。

菅原 そうだったんですね。そこで一歩踏み出してきて、本当に良かったです。ただ、1人でやると勉強時間が減ってしまうっていうのは、最近の田中さんの様子を見ていると想像できないですね（笑）

田中 ははは（笑）当時は1日5～7時間でも結構大変だったんですけどね。

勉強内容を決めてもらえてラクだった  
今まで「これまでやれば大丈夫」という  
ラインが分からなかったので……

菅原 不安と期待がありながらの【BEYOND】スタートだったと思いますが、実際にやってみてからの印象はどうでしたか？

田中 1週間の勉強予定とか今後の目標が決まったことで、すごくやる気が出ました。勉強予定は菅原さんに作ってもらっちゃってたんですけど……（笑）

菅原 田中さんはプレミアムコースだったので、勉強計画シートは僕が毎月書いて送らせてもらってました。プレミアムコースの受講生は、みんな共通して「勉強計画を作ってもらえたのが良かった」と言ってくれますね。

田中 これだけやれば良いんだっていう区切りができたおかげで、モチベーションを保っていた気がします。それまでは、区切りがないので際限なくやり続けて、疲れて勉強できなくなる、みたいな悪循環が何度かあったので。

菅原 具体的なワークシートでいうと、特に「勉強計画シート」が効果があったみたいですね。

田中 そうですね。あとは「目標管理シート」。今後の目標を自分で決めるっていうのが、すごく良かったかなと思います。

菅原 月ごとや模試ごとの目標点数を、前もって考えておくためのワークシートですね。

田中 はい。

菅原 僕が作った計画に沿って勉強してもらいましたが、そのあたりはどうでしたか？

田中 勉強することを決めてもらえるのは、かなりラクでした。今まで「これだけやれば大丈夫」というラインが分からなかったのです。そのラインを作ってもらえたのはすごく良かったです。

菅原 毎日、全科目を少しずつ勉強するような計画を立てさせてもらいました。

田中 毎日すべての科目を勉強していたことで、勉強できてない科目への不安が完全になくなりました。

菅原 それは良かったです。使った教材については、どんな印象でしたか？

田中 今まで市販の教材をあまり使ってこなかったのです。勉強の中身も新鮮な感じでした。市販の教材を使うやり方もありだなんて。

菅原 予備校に通ってると、渡される教材で勉強していくことになりますからね。自宅浪人だと、どの教材で勉強するかがものすごく重要です。僕から田中さんに合うオススメ教材を紹介したり、田中さん自身にも書店で実際に見てもらったりしながら、一緒に使う教材を決めていきましたね。

田中 オススメされた教材は結構良かったです。長年受験生を指導している人の意見なので、悪い教材はないって安心することができました。自分で探しても、中身をパラパラ眺めただけじゃ良い教材かどうかよく分からないので……。

菅原 最近は、教材の種類もたくさんありますからね。また、一般的には良い教材といわれていても、それが自分のやり方やレベルに合っているとは限りません。なので、自分1人で市販の教材を選ぶのはすごく難しいと思います。

田中 たしかに、そうですね。

菅原 【BEYOND】での勉強は予備校のやり方と大きく違う部分も多かったと思います。そのあたりで、違和感や戸惑いとかはなかったですか？

田中 予備校では講義室で授業が行われて、チューターがクラス全体をみている印象があつて。まあ当たり前なんですけど、一人ひとり是对応しきれていない感じでした。【BEYOND】では個人に合わせて一人ひとりみてくれたので、すごく助かりましたね。

菅原 たしかに【BEYOND】では、個々に合わせてサポートをさせてもらっています。それが田中さんには合っていたのかもしれませんがね。

田中 自分に一番合う指導をしてもらいたかったり、周りに受験勉強をしている人がいない人には良いと思います。自分1人で頑張り続けるのは難しいので、自分で自分を律するのが苦手な人にも絶対助けになると思いますね。

菅原 受験を1人で乗り越えようとする、勉強面でも気持ちの面でも大きな負担があります。自宅浪人で家に居ながら他の人のサポートを受けられるのが良いという意見は、他の受講生からも多く頂いてますね。

田中 たしかに、他の人のサポートを受けられたのは大きかったです。

緊張感で勉強量が大幅に伸びた  
早寝早起きと運動を習慣化して、  
午前中から集中して勉強できるように

菅原 【BEYOND】をスタートしたときの勉強報告を振り返ってみたら、8月の勉強時間は4〜7時間でした。

田中 はい。それくらいだったと思います。

菅原 そこから、9月の第1週には1日12コマ勉強できるようになっています（※1コマ：50分勉強+10分休憩）。休憩時間を除いて、実質10時間という勉強量ですよ。

田中 はい。

菅原 8月と比べて2倍くらいに増えました。どうして、こんな短期間で勉強時間を伸ばせたんだと思いますか？

田中 人の目があるっていうのが一番ですね。自分で12コマやると宣言したのもあって、勉強しないと迷惑をかけちゃうかなど。【BEYOND】を始めて、一種の緊張感みたいなものを持たせたのが良かったと思います。

菅原 そうだったんですね。念のため伝えておきますが、僕はこれまで迷惑だと感じたことは一度もないですよ（笑）

田中 ありがとうございます（笑）

菅原 【BEYOND】では「新習慣」という取組みをしていて、自分が新しく身につけたい習慣を考えてチャレンジしてもらっています。田中さんは、

1日12コマの勉強量とともに、早寝早起きや朝のウォーキングにも挑戦してくれていましたね。3つ同時によく頑張っているなあと思いながら見ていました。

田中 寝るのが遅くなると目がさえて眠れなくなったり、それが体調を崩すきっかけになったりしていました。朝起きれば気分良く過ごせるだろうし、午前中のうちにやるべきことをできたら、1日のリズムが良くなると思って。それで、早寝早起きに挑戦してみました。

菅原 8月は夜2時に寝て、朝9時に起きていました。そこから、12時就寝・7時起床にまで前倒しできましたね。朝のウォーキングも習慣化することができて、次の新習慣としてランニングにレベルアップしました。

田中 身体を動かしてないと、体調を崩すような気がして。自宅浪人なので、できるだけ身体を動かす時間を意識して作りたいと考えていました。

菅原 睡眠のリズムを整えたり、運動の習慣を作ってから、何か変わったことはありましたか？

田中 勉強に集中できるようになりました。朝しっかり起きて身体を動かしておくことで、午前中から目が覚めた状態で勉強できるようになりましたね。行動が習慣になると、それを意識しなくても行動に移せるようになっていて、ビックリしたというかすごく良かったです。

菅原 最初は体調管理を意識して始めたウォーキングも、やってみたら集中力アップにつながってきたんですか。それは、嬉しい誤算でしたね（笑）

田中 はい（笑）



菅原 田中さんと同じように、勉強時間を増やしたいとか、早寝早起きができるようになりたいと考えている受験生はたくさんいると思います。新しいことを習慣化するコツは何かありますか？

田中 1回でも休んでしまうとやる気がなくなったり、やらなかったっていう記憶が気持ちの緩みにつながったりするので、できるだけ休まないでやり続けるっていうのが一番大事だと思います。

菅原 なるほど。

田中 最初は少し甘めの目標にしておいたり、目標を100%達成できないときも少しでもやるのが大切なのかなって思いますね。

菅原 例えば、目標の20%くらいの行動でも、毎日続けることが大事ということですか？

田中 そうですね。期限がある目標だったら、期限から少し遅れたとしても、実践し続ける必要があったりするのかなと思います。

菅原 たしかに、一度でも休んじゃうと気持ちが切れちゃいますからね。例外の日を作らないのが大切だというのは、その通りだと思います。

計画を考えてもらえていたので、  
勉強内容に迷いがなかった  
模試で自己最高点が出て自信がついた

菅原 8月に【BEYOND】がスタートしてから、9月には1日12コマの勉強をできるようになって、早寝早起きや朝のウォーキングの習慣を身につけることができました。10月に受けたマーク模試では、全科目の合計点で859点（／950点）

を取ることができました。得点率でいうと、9割超えです！9割を超えたのは、このときが初めてでしたね？

田中 はい。9割取れたのは初めてでした。

菅原 【BEYOND】が始まって2ヶ月弱というタイミングでの自己最高点です。これまで3年間予備校に通っても超えられなかった壁をわずか2ヶ月で超えられたのには、きっと何か理由があるんじゃないかなと思います。一体何が田中さんを変えたのだと思いますか？

田中 うーん……。やっぱり、勉強する科目に偏りがなくなったことですかね。毎日少しずつでもすべての科目を勉強していたことで、不安がなくなってきたのが大きかったと思います。勉強計画も全部考えてもらえていたので、勉強している内容にも迷いがなかったです。

菅原 勉強する科目のバランスについては、3浪までの問題点としても挙げてくれていましたね。

田中 あとは、良い生活リズムや運動を習慣づけられたことによって、勉強への集中力が上がっていたこともあるのかなと思います。実際、勉強もコツコツ積み上げられていたので、自信もついていました。

菅原 新しい行動を習慣化できたことで自信がついて、それによって毎日勉強を進められるようになってさらに自信がついて。そして、模試で結果が出たら、どんどん自信がついていきますよね。まさに、プラスの波に乗っていたんじゃないかなと思います。

田中 はい。

**菅原** 自信をつけるには、不安をなくしていくことが大切です。やっぱり、効果的な勉強計画に沿って、毎日全科目の勉強をできていたことが良かったのかもしれませんがね。このあたりは、ぜひ大学での勉強にも活かしてください！

試験当日の時間割で過去問を解くなど、  
本番への対策をしたのが大きかった  
今までやったことがなかったのも……

**菅原** 秋から冬の模試でも、安定した結果を出し続けることができました。センター試験でも、合計点で9割超え！センターリサーチでB判定が出ました。獣医学部はA判定が出にくい学部なので、B判定でも十分だとお話ししましたね。

**田中** はい。

**菅原** 模試である程度の点数を取れても、本番の試験で力を出し切るのってまた別の難しさがあると思うんですよ。でも田中さんは、見事に実力を出し切ることができました。本番で力を出し切るためのコツや心構えなど、何か思いつくものはありますか？

**田中** 3浪までは、模試で思うような点数が取れてなかったとしても、きっと本番では良い点数が取れるんじゃないかとか、一気に点数が上がるんじゃないかとか、そういう変な期待があった気がするんですね。

**菅原** そうなんですね。期待を持つこと自体は、あまり悪いことではなさそうですけど。

**田中** 一種のよく分からない期待というか、本番だから何か起きるかもってという感じがあって。

その「本番だから」という意識が、実は余計な緊張につながってたんじゃないかと思うんですよ。それで結局、点数が悪くなるみたいな悪循環につながっていた印象があって。

**菅原** なるほど。そういうことですか。

**田中** 今年は本番であることが頭から消えていて、目の前の1問1問に集中することができていました。試験だっていうことを忘れて、緊張も取れていましたね。

**菅原** 「本番であることを頭から消す」ですか。

**田中** 少し特殊な考え方かもしれません（笑）

**菅原** たしかに、それができたら理想ですよ。ただ、本番であることを忘れて目の前の問題に集中するのって、結構難しいことのような気がするんですよ。

**田中** 菅原さんからのアドバイスで、「本番に対する練習」をかなりやらせてもらいました。試験本番の時間割に合わせて過去問を解いたりとか。今になって、あれがものすごく大きかったなって思います。今まで、ああいう練習はやったことがなかったのも。

**菅原** 本番に向けての調整については、いろいろアドバイスさせてもらいましたね。練習のうちから本番に近い環境を味わっておくというのは、すごく大切だと思います。

**田中** だいぶ効果があったと思います。

**菅原** 普段の勉強から本番に近い環境を味わっておくと、本番の試験でも、普段の勉強のように解けるようになるということですね。

過去問が思ったより解けなくて、不安や苛立ちを感じたこともあったこれを乗り越えられたのは……

**菅原** センター試験で結果を出せたので、今年は私大を受けずに本命の国公立一本でいこうということになりました。そして見事、前期試験で合格！まさに、完璧な受験でしたよね。

**田中** ありがとうございます（笑）

**菅原** 今年を振り返ると、まさに順風満帆に進んでいたようにみえます。でもその裏で、何か不安を感じたことや、いくつかの壁もあっただろうと思うんですね。

**田中** そうですね。

**菅原** これまでを振り返ってみて、一番大きかった壁や困ったこと、またはスランプと感じたことは何ですか？

**田中** うーん……。一番困ったのは、センター試験本番で点数を取れるイメージを持てなかったことです。社会は勉強して点数が上がってきたんですけど、国語は全然上がらなくて。文章を読むのは嫌いじゃないし、古文もむしろ好きなほうだったのに、やってもやっても点数が上がらなかったんですね。ずっと不安というか、苛立ちがあった気がします。

**菅原** マーク模試である程度の点数を取れていても、センター試験本番はどうなるか分からないという感じですか？

**田中** 今年は模試の点数もそれなりに良かったんですけど、センターの過去問を解いていると、思ったより点数が取れなかったんですね。そうすると、本番で大丈夫かなってという不安がありました。

**菅原** 国語は伸びにくい科目ですからね。ただ、そんな不安や苛立ちがありながらも、今年のセンター試験では結果が出たわけです。この不安や苛立ちは、どうやって乗り越えたんですか？

**田中** やっぱり、科目間のバランスをとったことですかね。今までなら国語だけを勉強して、結局、他の科目にも不安を抱えたまま試験に臨んでいたと思います。今年は毎日すべての科目を勉強していたので、他の科目に対する不安はだいぶ少なくなりました。それが結果として、良い精神状態で集中して試験を受けられることにつながったんだと思います。

**菅原** 不安を抱えていると、正しい答えを選んでいても自信がなくなって必要以上に迷ってしまったり、答えを変えちゃったりしますからね。

**田中** 不安が減った分、目の前の問題を解くのに集中できて、それが結果につながったのかもしれない。

**菅原** それもあるでしょうね。また、国語も毎日欠かさず勉強できていたので、実力そのものも上がっていたんだろうと思います。こう考えると、やっぱり勉強計画を作って、全体のバランスをとりながら勉強を進めていくことが大切といえるでしょうね。

**田中** はい。そう思います。

獣医師としてやっていくだけでなく、  
海外の人と関わりを持ってみたい  
自分の成長につながると思うから

**菅原** ここからは、視点を先に向けてみましょう。  
4月から晴れて大学生です！大学に入ったら、ど  
んなことがしたいですか？

**田中** まだ明確には決まっていますが、何かバ  
イトやサークルはやりたいなと思ってます。いろ  
いろ試してみて、具体的に何をやるかを決められ  
たら良いですね。

**菅原** 4月は新入生歓迎のイベントがたくさんあ  
ると思います。いろんなサークルから声をかけら  
れると思うんで、いろいろ参加してみると面白い  
ですよ！

**田中** そうなんですね。

**菅原** 僕はボート部やヨット部の体験に行って実  
際に海で乗せてもらったりとか、歓迎会だけ参加  
させてもらったサークルもいくつかありました。  
最終的には、高校までやっていた陸上部に落ち着  
きましたけど（笑）

**田中** ははは（笑）

**菅原** 新入生歓迎のイベントは参加するだけでも  
面白いし、いろんな体験ができるので、ぜひ思い  
切り楽しんでみてください！

**田中** 分かりました！いろいろ参加してみたいと  
思います。

**菅原** ではもっと先に目を向けて、田中さんが将  
来やりたいことや叶えたい夢とかはありますか？

**田中** 獣医学部なので、獣医師としてやっていき  
たいというのは目標の1つとしてあります。それ  
から、海外の人と関わりを持ちたいという気持ち  
がありますね。海外の人たちがどういう価値観を  
持っているのかを知りたいです。あと漠然とです  
が、将来は海外に出て働いてみたい気持ちもあり  
ます。

**菅原** 海外の人と関わりを持ちたい？

**田中** はい。具体的に何をするかはまだ考えてな  
いんですけど、いろいろな人と関わることが自分  
の成長にもつながっていくと思っています。

**菅原** それは良いですね。田中さんは英語力もあ  
るから、きっと大丈夫でしょう！

**田中** いや、そこは不安なんですけど…（笑）

**菅原** 受験で必要な英語力と、日常会話で求めら  
れる英語力は違いますからね。それでも、土台が  
あれば日常会話のスキルもすぐに身につけていき  
ますから大丈夫です！

**田中** ありがとうございます。

**菅原** 僕自身、海外の人との付き合いのなかで、  
新しく得られたものがたくさんありました。田中  
さんの進む大学には、留学生もたくさんいると思  
います。ぜひ、大学に進んだら海外の人とのコミ  
ュニケーションをとってみてください！

**田中** はい。頑張ります！

やり続けても結果が出ないときはある  
でも、やり続けないと結果は出ない  
周りに流されないで続けることが大切

菅原 最後に、これから大学受験に向かって頑張ろうとしている後輩たちに、何かアドバイスをお願いします。

田中 何かを続けようとする、どうしても結果が出ないときもあって、不安になることもあります。でも、やらないと結果は出ないので、続けることが大事なのかなと思いますね。予備校にいたときに、不安に負けてつい逃げてしまう人をよく見ました。つい遊んでしまうとか、周りの仲間とダラダラ喋るとか。逃げる方法はいくらでもあるけれど、周りに流されないで続けていくことが結果につながると思いますね。

菅原 やり続けても、結果が出ないときもある。けれども、やり続けないと結果は出ない、と。

田中 そうですね。

菅原 途中、不安に襲われて逃げてしまう人もいるけれど、周りに流されずに取り組み続けることが大事、というわけですね。うーん、田中さんの5年間をそのまま凝縮したかのような、ものすごく説得力のある言葉だと感じました。

田中 ははは（笑）ありがとうございます。

菅原 とても良いメッセージを頂きました。ありがとうございました！

菅原 今日はとても参考になる話を聞かせてくれて、本当にありがとうございました！

田中 こちらこそ、ありがとうございました。

菅原 3月末まで【BEYOND】のサポートが残っているので、これから有意義な大学生活を送ったり、その先の将来のための準備やアドバイスをたくさんしていきたいと思っています。あと少しですが、最後までよろしくお願いします！

田中 こちらこそ、よろしくお願いします！

※ 個人情報保護の観点から、体験記に登場する団体名・個人名は実名を出すことは控え、すべて仮名とさせていただきます。ご容赦ください。

## ◆ 独学サポート塾【BEYOND】の特徴

1. 完全少人数制で一人ひとりに合わせたサポートを実現！
2. 3ヶ月で「夢を叶える力」を身につける集中指導！
3. サポート継続率91%の高い満足度！

## ◆ 受講生の声

マーク模試で、第一志望の大学の  
受験予定者の中で1位を取れました！

早起きなんて無理だと思っていましたが、  
今は毎日、朝から頑張れています。

模試の点数が  
100点以上も伸びました！

自宅浪人生にとって、  
他の人と話せる機会は貴重ですね

勉強報告へのコメントが  
毎日の励みになりました！

私が現役生のときに、  
【BEYOND】があれば良かったのに

今後の人生を変える  
おおきなきっかけになりました！

前は勉強から逃げていましたが、  
合格したい気持ちが強くなりました！

模擬面接の対策をしてもらったおかげで、  
AO入試で第一志望に合格しました！

## ◆ 独学サポート塾【BEYOND】の詳細は、こちらをご覧ください

<http://beyond-myself.net/beyond-intro/>

不明な点などがございましたら、info@beyond-myself.net までご連絡ください。